



## 京都市職員(交通局)

# 六齋の歴史的意義を学ぶ 人権ワールドワーク実施

六月三十日(土) 京都市交通局職員(三十五名)の人権ワールドワーク学習が取り组まれ、京都市吉祥院いきいき市民活動センター内に設置している「吉祥院六齋歴史資料展示室」の見学を行いました。国の重要無形民俗文化財に指定された「吉祥院六齋念仏踊り」には、どのような歴史が隠されているのか、千年近く続く伝統芸能が今に伝えるものは何か、吉祥院六齋念仏踊りの歴史を通して人権学習会が実施しました。

私たち「清水美優(京都府立大学二回生)と西片里紗(京都文教大学一回生)」が「差別との闘いが伝承を支えた吉祥院六齋念仏踊り」をテーマに保存・継承の重要性など、吉祥院六齋の歴史的意義についてお話しをさせ



(左) 西片里紗 (右) 清水美優

「人権と共生について学び、差別の痛みの共有と解放への意欲を高める地域実践の中から生まれ、その実践の輪は、周辺地域へと広がり、その実践の熱き思いと手法は、各諸団体のまちづくりと共に共有されつつあります。」

## 号外

発行責任者  
石田房一  
電話 070-691-7561  
編集 広報編集部  
吉祥院六齋歴史研究会  
獅子の如く

ていただきました。

参加された皆さんから「六齋をはじめて見た」「保存継承に関わる大切さを感じた」「六齋と人権が結びつかなかったが歴史的な経緯と活動の必要性などが理解できた」など、人権について意見交換を行いました。

吉祥院六齋歴史資料展示室は、差別の現実、人権と共生について学び、差別の痛みの共有と解放への意欲を高める地域実践の中から生まれ、その実践の輪は、周辺地域へと広がり、その実践の熱き思いと手法は、各諸団体のまちづくりと共に共有されつつあります。



挨拶する石田房一センター長

私たちが吉祥院六齋歴史研究会としても、人

## 吉祥院六齋歴史資料展示室 歴史的意義を人権教育として

京都市吉祥院いきいき市民活動センター「吉祥院六齋歴史資料展示室」を地域文化の基盤として、「人権と共生」の発信拠点に、地域・学校などと、人権教育を推進、支援することを目的に、人権ワールドワーク学習の重視は当初からの懸案でもありました。人権教育の一環



熱心にメモを取る京都市交通局の職員の方々

権ワールドワーク学習を通して、互いに結び合い、地域の歴史性や社会性を共有できたことは、調査研究活動の一つの成果でありました。

清水美優・西片里紗  
(編集部)



として、ワールドワーク学習が、それまで学校や地域で、「点」として

取り组まれてきた経過もあつて、地域における人権教育ネットワークの結び目の役割を担う研究会活動にとつて、それを「面」として、継承・発展させることは、当然の研究課題でもありました。

市交通局の人権ワールドワーク学習のその営みを通して、吉祥院六齋念仏踊りの歴史的意義を地域・学校・企業における「人権と共生」をテーマとして、広く地域に根ざした人権教育の実践をどう組み立てるかという課題意識について、再確認できました。

石田房一  
(京都市吉祥院いきいき市民活動センター長)



# 吉祥院支部 ◇健康文化の集い◇ 住み慣れたまちで暮らす



今年、百歳以上の高齢者が3万人を越えました。『おばあちゃんの智恵袋』という言葉があるように、困難な時代をくぐり抜け、その経験や豊かな智恵は、地域社会の財産です。私たちはお年寄りへの感謝とともに、地域でどう支え合うのが、今後の重要な課題になります。



現在、国で高齢社会に対する議論が行われています。従来は、65歳から高齢者と言われていましたが、  
「支えられる人」という意識を変えようと「人生90年時代」を前提にした仕組みに転換しようという話し合いが進められています。

超高齢社会を迎える中、元気で意欲のある高齢者の「出番」が求められています。「団塊の世代」の先頭世代も65歳に差し掛かっています。地域のまちづくりにもその経験を活かしたい「智恵」をいただきます。

総人口に、65歳以上の人が占める高齢者率は、24%と過去最高を更新しました。国（厚生労働省）によると、23年後には、3人に1人が65歳以上になります。高齢化は都市部より地方で急激に進行しています。



吉祥院地域の伝統文化である「吉祥院六斎念仏踊り」の保存会も超高齢化の波に直面し、千年続く伝統芸能の保存・継承についても真剣に考えねば、深刻な



危機を招くこととなります。住み慣れた地域で暮らすため、医療と介護の充実が重要になります。

今後は、NPO法人ふれあい吉祥院ネットワークと吉祥院デイサービスや地域包括センターと連携を密にし、巡回型の訪問介護や在宅医療、訪問介護を組み合わせた「福祉のまちづくり」に取り組みなければなりません。

豊かな老後を築くには、身近な地域課題の克服からはじめ、「地域から豊かな老後」というテーマについて、見つめ直す必要があります。

社会の様々な分野で活躍してきた経験を活かし、先導する役割が期待されています。

(広報部)

*Wishing you the best of everything, and lots and lots of love. Happy Grandparents Day.*



敬老の日を迎えられ、心よりお喜び申し上げます。いつまでも健康であられますよう、お祈りいたします。



吉祥院六斎歴史研究会  
獅子の如く